

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 49

| | | | | | |
|------|------------|------|--------------------------|--------|-----------------|
| 政策体系 | 41 | 事業分類 | ソフト事業 | 所管部局 | 市民部 市民課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 2.総務費 - 1.総務管 - 6.企画費 現年 | | |
| 事業名 | 男女共同参画推進事業 | | | | |
| 細事業名 | 男女共同参画推進事業 | | | | |
| | | | | 評価表作成者 | 市民福祉部 市民課 森本 隆幸 |

1. 事業の概要

男女が互いに人権を尊重しながら、責任を分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を發揮できる社会を目指し、市民一人ひとりの意識改革と新たな価値観の共有により、家庭や職場、地域社会における男女の対等な人間関係を構築する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

ひとりひとりが仕事、家庭地域生活など多様な活動を自らの希望に沿った形で展開でき、男女がともに夢や希望を実現し豊かな人生を創造する。

②事業を実施する必要性

国の男女共同参画社会基本法に地方公共団体の責務に挙げられている。一人でも多くの市民が、男女共同参画の意義を理解し、職場や地域で活かす。

3. 事業費の推移

| | | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 |
|-------------------------|----------|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 456 | 2,792 | 581 | 723 | 1,136 | 1,230 | 1,230 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 200 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 456 | 2,792 | 581 | 523 | 1,136 | 1,230 | 1,230 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | 1.00 | 0.85 | 1.15 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | 7,927 | 6,936 | 9,001 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | 10,719 | 7,517 | 9,724 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|-------------|------------------------|
| 女性相談事業業務委託費 | 379,040円 |
| 男女共同参画啓発講演会 | 100,000円 |
| その他経費 | 243,470円（消耗品費、バス借上げ料等） |

5. 事業結果の概要

本年度より女性相談事業を実施し女性の自立をさらに推進する基礎となった。

6. 活動の詳細

| 講演会 | | |
|---------------------------------------|-------|-----------------------|
| KYOのあけぼのフェスティバル南丹会場としてDVに関する講演会を開催した。 | 10月 | 41名の参加があり熱心に聞いていただいた。 |
| 男女共同参画週間として「キラリなんたん」講演会を食育をテーマに開催した。 | 6月 | 71名の参加があり好評であった。 |
| 相談事業 | | |
| DV等女性の悩みを解決するための「南丹市女性相談事業」を開設した。 | 8月～3月 | 30名の相談があり、一定の成果があった。 |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

新たに女性相談事業に取り組み、女性の心理的サポートを行った。女性ネットワーク会議を中心とした講演会等を実施し、各分野の女性の交流を深めた。さらにネットワークの輪を広げる取り組みが必要である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

女性ネットワーク会議の発足による、講演会等共催事業の実施を図るなど、仕掛け人会議からの前進を見た。

■平成21年度の所属長評価

- ①女性のネットワーク作りの拡充とフォーラムの開催
- ②行動計画書が完成した
- ③実行に移すための不断の努力と策定計画概要版の発行